



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



平成24年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日伝

コード番号 9902 URL <http://www.nichiden.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福家 利一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長・IR担当 (氏名) 吉田 富一

TEL 06-7637-7000

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,672	△3.8	1,642	△19.0	1,723	△18.4	1,045	△15.2
24年3月期第2四半期	42,298	9.7	2,027	25.9	2,113	24.7	1,232	31.2

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	66.41	—	—	—
24年3月期第2四半期	78.31	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	65,127	—	53,656	—	—	82.4
24年3月期	67,132	—	53,803	—	—	80.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 53,656百万円 24年3月期 53,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
24年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	82,000	△3.2	3,340	△16.1	3,470	△16.0	2,090	△7.6	132.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	15,943,000 株	24年3月期	15,943,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	205,854 株	24年3月期	205,740 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	15,737,222 株	24年3月期2Q	15,737,260 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
5. 補足情報	8
(生産、受注及び販売の状況)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に持ち直しの動きが見られたものの、世界景気の減速や産業の空洞化、長引く円高やデフレの影響など、依然として先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く機械器具関連業界においては、自動車関連は堅調に推移したものの、輸出の減少、製造拠点の海外移転などの影響により工作機械の受注の伸び悩み厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下で、当社においては『新たな競争時代の幕開けに向けての年』を基本方針として、創業者精神を機軸に刻々と変化する市場環境への対応、新たな販売商品・販路の拡大、お取引先ニーズに対して、専門総合商社としてよりスピーディーに、よりの確に対応し、景気に左右されない体質の強化を目指した営業展開を図ってまいりました。具体的には、当社の強みである「FACE to FACE」直接対話を基本としつつ、製品情報サイト及び商品カタログ名である「MEKASYS」(<http://www.mekasys.jp>)を日伝ブランドとして浸透させるべく、昨年に引き続き支店・営業所単位でも積極的に展示会の開催や企画を行い、マーケティング活動などにも取り入れて注力してまいりました。また、製造業の海外移転に対応すべく海外営業基盤の強化・海外拠点の拡充を行うとともに、グローバルな人材の育成・採用にも注力いたしました。一方、国内市場での代理店の責務を果たすため、営業支援部隊の活用によりさらに踏み込んだニーズの発掘、物流体制の強化を行い、提供価値の向上を図り販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高406億7千2百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益16億4千2百万円(前年同期比19.0%減)、経常利益17億2千3百万円(前年同期比18.4%減)となり、四半期純利益につきましては、10億4千5百万円(前年同期比15.2%減)と減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ20億5百万円減少し、651億2千7百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ12億1千1百万円減少し、485億7千3百万円となりました。これは、現金及び預金が4億3百万円減少、受取手形及び売掛金が4億2千万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ7億9千3百万円減少し、165億5千3百万円となりました。これは、有形固定資産が7億1千6百万円増加したものの、投資その他の資産が14億5千6百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期末における負債合計は、前事業年度末に比べ18億5千7百万円減少し、114億7千1百万円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ17億9千2百万円減少し、84億7千1百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が10億9千8百万円減少、未払法人税等が4億6千2百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6千5百万円減少し、30億円となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金が4億4百万円減少したこと等により前事業年度末に比べ1億4千7百万円減少し、536億5千6百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ7億7百万円減少し、232億2千4百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億6千7百万円(前年同期において得られた資金6千4百万円)となりました。これは主に、法人税等の支払額が10億8千3百万円、仕入債務の減少額が9億3千1百万円あったものの、税引前四半期純利益が17億2千6百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億3千万円(前年同期において使用した資金6億8百万円)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が5億4百万円あったものの、固定資産の取得による支出が9億1千8百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8億4千4百万円(前年同期において使用した資金5億9千5百万円)となりました。これは、配当金の支払額が7億8千6百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では、平成24年11月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,431	24,028
受取手形及び売掛金	20,196	19,775
商品	4,553	4,357
その他	624	427
貸倒引当金	△20	△14
流動資産合計	49,784	48,573
固定資産		
有形固定資産	9,312	10,028
無形固定資産	198	144
投資その他の資産		
その他	7,838	6,381
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,837	6,380
固定資産合計	17,347	16,553
資産合計	67,132	65,127
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,919	6,820
未払法人税等	1,125	662
賞与引当金	490	437
その他	728	550
流動負債合計	10,263	8,471
固定負債		
退職給付引当金	528	640
その他	2,536	2,359
固定負債合計	3,065	3,000
負債合計	13,329	11,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	40,892	41,150
自己株式	△560	△560
株主資本合計	52,983	53,241
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	819	414
繰延ヘッジ損益	0	—
評価・換算差額等合計	820	414
純資産合計	53,803	53,656
負債純資産合計	67,132	65,127

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	42,298	40,672
売上原価	36,162	34,875
売上総利益	6,136	5,796
販売費及び一般管理費	4,108	4,154
営業利益	2,027	1,642
営業外収益		
仕入割引	174	173
その他	80	84
営業外収益合計	255	258
営業外費用		
支払利息	39	38
売上割引	125	126
その他	5	11
営業外費用合計	170	176
経常利益	2,113	1,723
特別利益		
投資有価証券売却益	6	5
特別利益合計	6	5
特別損失		
固定資産処分損	3	0
投資有価証券評価損	29	—
投資有価証券売却損	—	2
その他	0	—
特別損失合計	32	3
税引前四半期純利益	2,087	1,726
法人税、住民税及び事業税	865	631
法人税等調整額	△9	49
法人税等合計	855	680
四半期純利益	1,232	1,045

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,087	1,726
減価償却費	277	260
売上債権の増減額(△は増加)	△354	292
たな卸資産の増減額(△は増加)	△490	192
仕入債務の増減額(△は減少)	△314	△931
その他	54	△10
小計	1,258	1,529
利息及び配当金の受取額	58	60
利息の支払額	△39	△38
法人税等の支払額	△1,212	△1,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	64	467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△520	△11
定期預金の払戻による収入	6	504
有形固定資産の取得による支出	△29	△918
投資有価証券の取得による支出	△64	△25
投資有価証券の売却及び償還による収入	53	206
その他	△52	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△608	△330
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△551	△786
その他	△43	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△595	△844
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,138	△707
現金及び現金同等物の期首残高	22,700	23,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,562	23,224

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(生産、受注及び販売の状況)

① 販売実績

期別	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		比較増減
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
区分	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)
動力伝導機器	19,438	45.9	18,111	44.5	△1,327
産業機器	8,188	19.4	8,242	20.3	53
制御機器	14,671	34.7	14,319	35.2	△352
合計	42,298 (520)	100.0 (1.2)	40,672 (448)	100.0 (1.1)	△1,626 (△72)

(注) 1 ()内は輸出高及び輸出比率であり、内数であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

期別	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		比較増減
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
区分	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)
動力伝導機器	16,516	45.0	15,017	43.3	△1,498
産業機器	7,133	19.5	7,133	20.6	0
制御機器	13,003	35.5	12,528	36.1	△474
合計	36,653	100.0	34,680	100.0	△1,973

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。